

校内研だより no.4

四万十市立西土佐中学校
2020年8月5日 文責：福田

めざす授業 『一緒に考えたいくなる授業』（発問の工夫によるPDCAサイクルが機能する授業）

1学期を振り返り、これからの指導に生かす

8月5日（水）の校内研では、1学期の総括を行いました。

《1学期の総括の流れ》

	項目	活動	時間配分
前半	報告	○それぞれの取組における成果と課題及び改善策を共有する。	2×7+2
	(1) 学年		1×10+3
	(2) 教科	○学校の取組としての成果・課題を付箋に書き出す。	3×3+3
	(3) 研究部		2×3+1
	(4) 研究		計 48分
後半	協議	○各自で書いた成果と課題を学年部で共有し、発表する。	20分
	(1) 学年部		20分
	(2) チーム会	○共通していた課題について、改善策を個人で考えた後、チーム会に分かれて話し合う。	計 40分
まとめ	整理	○チーム会で話し合ったことを、1つにまとめる。 ○自分がすべきことを付箋に書く。	20分 合計：休憩も含み120分



みんなで頑張るぞ！！



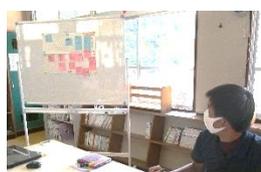
3年部



1年部



2年部



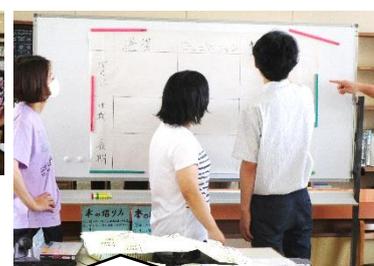
〈個人思考〉



〈Aチーム〉



〈Bチーム〉



チーム長を中心に
全員で改善策を整理する

報告も協議も、時間を守り、ポイントを押さえて、全員が話します。全体⇒学年部⇒個人⇒チーム会⇒全体と、短時間に形態が変化しますが、全員がスムーズに対応し、中身の濃い協議が行われました。

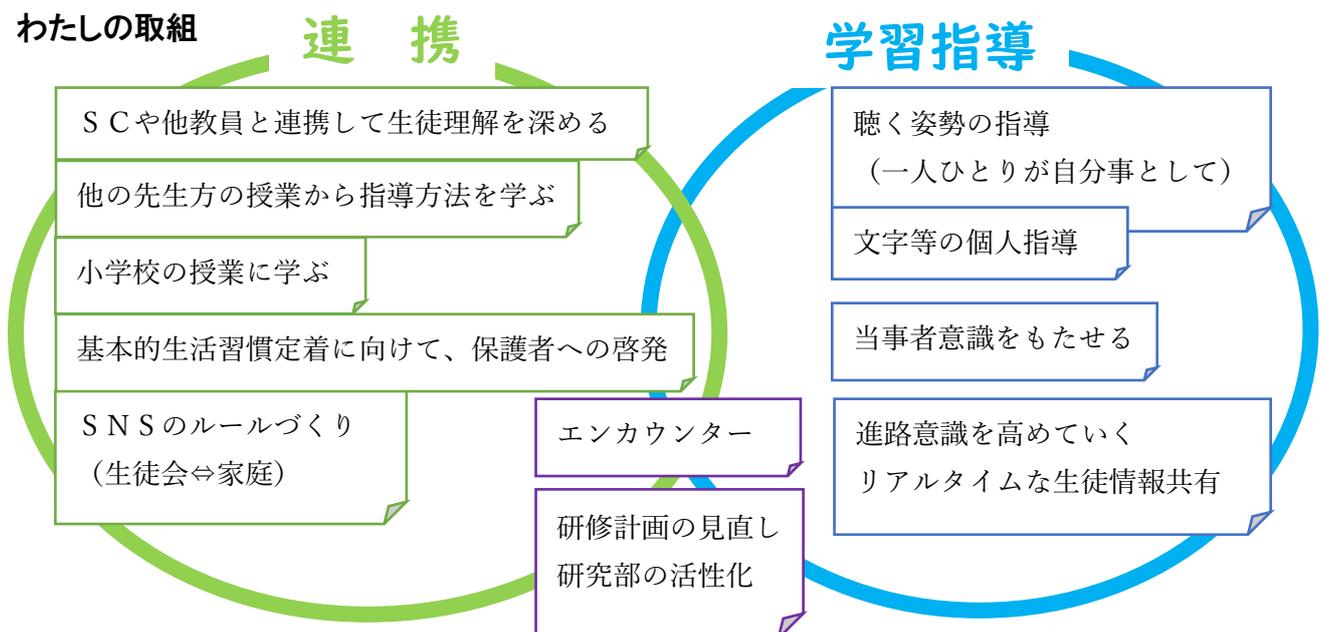
1学期の成果と課題

	成 果	課 題
生徒	1年生が中学校に慣れ、授業が落ち着いてきた 思いや考えが言えるようになってきた 自主的に考えて行動する場面が増えた	授業規律、読みにくい文字、整理整頓、提出物 コミュニケーション、当事者意識、言葉の理解 メディア時間、SNSトラブル 挑戦する態度
教師	欠席者対応がすばらしい 個人面談、班長会、学級会、学級通信 困ったときに担任に相談できる関係づくりができてきている	学習の目的（系統的な進路指導） 連携（問題行動時、特別支援、小中、家庭） 教科で違う姿、社会性の育成、お便りなど 授業規律（全員で）

今後の取組

	連 携	コミュニケーション	特別支援
すぐに	リアルタイムでの情報共有 ●基本的なルールの徹底 ●指導⇔共通理解 ●部活動での様子の把握 役割分担	あいさつ（その都度） ソーシャルスキルトレーニング 振り返り （毎日の記録、授業の振り返りを3行以上）	個々の生徒の共通理解 課題を決めつけてしまっていないか？
2学期中	小中連携（授業参観） SCのアドバイスを生かす 家庭（SNSルールづくり）	授業での対話活動 1分間のクロストーク エンカウンターの実施 ※1往復以上の意見を	自立活動の充実 研究授業やサポート事業などで有効な手立てを考える・学ぶ
度 今年 中	小学校・家庭と連携して当事者意識をもたせる	自分の言葉で伝える方法	生徒理解（SC） 進路意識（3年間の計画）

わたしの取組



2学期も、「チーム西土佐」で、協力し合って、子どもたちとますます楽しい学校にしていきたいと思います！